

青少年赤十字創設100周年記念事業  
「三重県青少年赤十字まつり」  
開催報告



日本赤十字社三重県支部

### 三重県青少年赤十字まつりの目的

青少年赤十字は、赤十字の考え方を通じて、人を思いやり、主体的に行動する子どもを育てることを目的としています。日本における青少年赤十字は、1922（大正11）年に滋賀県の守山市立守山小学校から全国に広まり、令和4年度には青少年赤十字創設100周年を迎えました。

全国の青少年赤十字加盟校では、この創設100周年を契機に、「未来のあなたへ、やさしさを。」というスローガンを掲げて、子どもたちの絆・想い・活動を「つなぎ」、生きる力を育む活動を「つづけ」、新たな青少年赤十字の歴史を「つくる」活動を展開しています。

三重県では、青少年赤十字の高校生が運営の中心メンバーになって、「三重県青少年赤十字まつり」を開催します。このイベントを通じて、子どもたちが赤十字の人道について学ぶとともに、青少年赤十字の活動を県民の皆様にご理解いただき、幅広い赤十字活動のさらなる普及を図ります。

### 成果と課題・今後の展望

青少年赤十字創設100周年という佳節を大切にし、明日につながる取り組みとして「三重県青少年赤十字まつり」（以下、まつり）を実施したことは、「開催目的」にある『…子どもたちの絆・想い・活動を「つなぎ」、生きる力を育む活動を「つづけ」、新たな青少年赤十字の歴史を「つくる」活動…』や、「…このイベントを通じて、子どもたちが赤十字の人道について学ぶとともに、青少年赤十字の活動を県民の皆様にご理解いただき、幅広い赤十字活動のさらなる普及を図り…」を十分達成できたイベントになった。以下、「三重県青少年赤十字まつり」を振り返ってみたいと思う。

#### <三重県青少年赤十字まつり開催の経緯>

青少年赤十字創設100周年の記念行事を考える際、JRCの年間行事計画がびっしり組まれているうえ、特に6月から8月までは青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（以下、トレセン）の運営に支部をあげて取り組むため、新たな企画を取り入れる日程的余裕がなかった。そこで、12月に開催している「青少年赤十字のつどい」を外部向け企画とし、記念行事としての「まつり」にし、「青少年赤十字のつどい」の経験のあるJRC高校生メンバーが中心となり企画運営をしてはどうかと考えた。そして、外部の方、特に同世代の高校生が集まれる時期として秋の高文祭の日程に合わせて10月23日と決定した。

つまり、毎年、高校生が取り組んでいる「青少年赤十字のつどい」の内容をそのまま外部向けとしてブラッシュアップしたものとして「三重県青少年赤十字

まつり」を企画することとなった。

#### ＜青少年赤十字活動の周知の取り組み＞

どのように青少年赤十字活動を県民の皆さまに周知するかを考え、会場を三重県総合博物館 MieMu（以下、MieMu）とした。MieMu は、三重県民にとってなじみのある博物館であり、三重県支部創立 130 周年記念事業でも会場として利用させていただき、その時に高校生もブース経験があるなど最適な会場である。今回は、基本展示室の観覧が無料となり施設全館が貸し切りに近い状態となるコーポレーション・デー企画を利用した。この企画を利用することで、多くの集客を得ることができた。

また、青少年赤十字だけでは、多くの来場が見込めないため、市内のイベント企画会社に協力団体として加わってもらった。会場の有利さに加え、集客に長けたイベント企画により、大きく外部に打って出ることができた。2,000名の集客目標を掲げ、案内チラシを作成し、配付先を鈴鹿市・津市・松阪市の各小・中・高校とし、全児童・生徒分配付したことで、当日は、目標を大きく上回る4,080名の方に来場いただけた。来場いただいた方々に、青少年赤十字活動を周知でき、大きく推進することができた。

#### ＜高校生が企画運営するまつりに＞

本年度、JRC 高校生メンバーには、第1回高等学校連絡協議会からまつりの企画に携わってもらい、トレセンを経て高校生ブースの展開案を検討してもらってきた。コロナ禍で思うように活動ができず、生徒たちの成長する場や機会も著しく減少している中、自分たちで「気づき」「考え」「実行する」大きなチャンスにすることができた。生徒たちの生き生きとした活動を見ると、困難を乗り越えて成長した姿に感動を覚えた。特に、新リーダーである木本高校の2名は、高等学校連絡協議会での初めての進行から、三重テレビへの出演、まつりのオープニングイベントなど、本当に大変な責務をやり切り大きく成長する一年となったのではないかなと思う。

反省点としては、JRC 高校生メンバーの具体的なスタートはトレセンが終わった2学期以降ということもあり、支部が中心となって、会場や協賛団体などを固めていった。そのため、高校生が運営主体という色が出し切れなかったことである。

また、青少年赤十字は高校生だけではないので、幼稚園・保育園・子ども園・小・中学校の加盟校も巻き込んだ100周年記念行事ができなかったことも反省としてあげられる。

#### <赤十字奉仕団との連携>

高校生の活躍の場を盛り上げるために、赤十字奉仕団の皆さんにも参加していただいた。奉仕団のみなさんも、何年もコロナの影響で活動ができず、団員間の連携も薄くなっていた時期であったが、これを契機に、団としての絆や活動の在り方を検討し、活発にブース展開をしていただき、奉仕団としても実りのある取り組みになったであろう。また、奉仕団の皆さんの活躍は、高校生の活動の励みとなったことも大きな成果ではないか。

結成間もない津市・菰野地域奉仕団のみなさんは、非常食炊き出し実習についても初めての経験であった。このブースも100名に近い参加者があり、大変好評であった。地域奉仕団として、この経験は、それぞれの地区で単独の奉仕団としての活動を展開するにあたり大きな自信となったであろう。

#### <学生ボランティアの結成に向けて>

本年度、大学生ボランティアの結成に向けて三重大学教育学部と連携を深めることができ、特別支援教育担当の先生の計らいで、1年生16名が、ボランティア参加していただいた。このことは、将来教員を目指す学生にとっても良い経験になったのではないか。今後、その中から意識のあるメンバーが中心となり、他校と連携しながら三重県学生ボランティアの立ち上げの推進力になれば嬉しい限りである。

また、今回、鈴鹿医科大学からも学生ボランティア参加が計画されていたが、日程が合わず不参加となってしまった。引き続き、同大学の学生ボランティア結成に向け、連携を深めていきたい。

三重県学生献血推進連盟「みえっち」のリーダー（皇学館大）も献血センターブースに参加していたが、今回のまつりでの青少年赤十字活動に大変感銘をされ、皇学館大学での学生ボランティア立ち上げに尽力したいとの話も伺った。

来年度以降、三重大学をはじめ、皇学館大や鈴鹿大学・四日市大学といった県内の大学へ、青少年赤十字をPRし、学生ボランティア結成への取り組みを進めていきたい。

#### <広報活動について>

広報活動を充実させることができた。三重県や津市へのプレスリリース、つうぴ〜すへの掲載、JRC 高校生メンバーによるFM みえや三重テレビでの告知放送など、できうる限りの広報活動を行うことができた。

しかしながら、秋のイベントが全県下で行われていることもあり、当日の取材は、三重テレビ1社のみであった。せっかく高校生や奉仕団が良い取り組みを行っているので、ぜひ、メディアで取り上げてほしかった。そのためには、各社へ

直接取材依頼をしなければならなかったと反省している。

#### ＜今後の展望＞

今回の取り組みで、JRC 高校生メンバーが大いに活躍できた。この経験やノウハウは、是非、次につなげていきたい。従来の「青少年赤十字のつどい」を、外に PR していく側面も備え、開催地域の幼・小・中・高へ案内配付をし、今回の「まつり」のような意図で開催してはどうだろうか。開催にあたっては、近隣小・中学校の参加や赤十字奉仕団の協賛も検討してみたい。そうすることで、今回の経験とノウハウを生かすことができるのではないかと考える。

高等学校連絡協議会の指導者からは、「今回の「まつり」は、100 周年記念行事でもあり、赤十字色が強かった。オール赤十字でよかった。」という意見もあれば、「「つどい」は青少年赤十字のイベントとして大切にしたい」という意見もあるので、高等学校連絡協議会としっかり協議をしていきたいと思う。

## 「三重県青少年赤十字まつり」概要

### ○開催の概要

開催日時：令和4年10月23日（日）10：00～15：30

開催場所：三重県立総合博物館 MieMu

主 催：日本赤十字社三重県支部・三重県青少年赤十字高等学校連絡協議会

後 援：三重県教育委員会・津市教育委員会・松阪市教育委員会

三重県立学校長会・三重県小中学校長会

### ○当日のタイムスケジュール

10：00～ オープニングセレモニー

屋外会場 催し物スタート

進行：木本高校生 2名

- ・誓いの唱和

- ・空は世界へ（清聴）

- ・挨拶 日本赤十字社三重県支部 副支部長 服部 浩

三重県青少年赤十字高等学校連絡協議会 会長 堀越 英範

三重県支部有功会 会長 伊藤 歳恭

- ・記念品贈呈 三重県支部有功会 伊藤 歳恭会長

※開催記念マフラータオル

10：15～ 屋内会場 各ブース発表開始※高校生ブースは11：30～

11：00～ 記念講演「国際赤十字活動と人道支援」（WEB）

～バングラデシュ避難民キャンプでの活動を通して～

伊勢赤十字病院看護師長 安藤 恵理

11：30～ 高校生ブース発表開始

15：30～ 閉会セレモニー

進行：木本高校生 2名

- ・挨拶 日本赤十字社三重県支部 事務局長 松田 克己

三重県青少年赤十字指導者協議会 会長 青木 利斉

三重県立総合博物館 MieMu 館長 守屋 和幸

○館外催し物

<ステージ企画>

10：00～オープニングセレモニー  
10：20～ダンス（B-BOX）  
11：30～吉田さんちの大道芸  
12：20～ハンドベル（久居農林高校）  
12：50～ダンス（Mighty Girls）  
13：20～ジャグリング（白子高校）  
13：50～吉田さんちの大道芸  
14：30～ダンス（G-row）  
15：15～お菓子まき  
15：30～閉会セレモニー

<血液センター>

「知ってほしい献血のこと」

・ぬりえ・パズル・動画視聴・献血車見学など

<職業体験コーナー>

- ・辻本組…働く車でクレーンゲーム
- ・日塗建…カラフル工房・塗装体験
- ・ANAPA…トレーナー体験
- ・庭工房…庭師の職業体験
- ・ピレネーエキスパート…足場・高所作業車に乗ってみよう
- ・奥山自動車工業…タイヤでボーリング

<キッチンカー>

- ・焼きそば ・ホットサンド ・韓国チキン
- ・アメリカンポテト ・唐揚げ ・ベビーカステラ
- ・クレープ ・コロケバーガー ・たこ焼き 他

○館内催し物

<2階フロア>

- ・青少年赤十字創設 100 周年コーナー
- ・ハートラちゃんフォトスタンド
- ・日本赤十字社三重県支部社屋移転 PR コーナー

- 高等学校連絡協議会
  - 飯野高校…ウクライナ人道危機救援募金・ウクライナグッズ
  - 四日市四郷高校…災害義援募金、防災グッズ展示
  - 白子高校…車イス体験、ジャグリング
  - 高田高校…SDGs クイズ、クロスワードクイズ
  - 久居農林高校…ハンドベル、クリスマス・お正月かざりの販売
  - 紀南高校…射的、まとあて
  - 特別支援学校東紀州くろしお学園…ボッチャ体験
  - 木本高校…バルーンアート、館内ぐるぐるスタンプラリー
- 赤十字奉仕団
  - 三重県青年赤十字奉仕団…プラ板キーホルダー、お面づくり
  - 三重県青少年赤十字賛助奉仕団…紙芝居、お面づくり
  - 津市・菰野町地域奉仕団…非常食体験
- 健康測定（日本調剤）…脳・血管・肌年齢、体組成計、骨密度測定

### <3階フロア>

- 青少年赤十字創設 100 周年記念事業「青少年赤十字ポスターコンクール」作品展示
- 赤十字奉仕団
  - 安全奉仕団…救急法、AED、三角巾の使い方
  - 無線奉仕団…無線体験、糸電話、航空無線傍受
  - 点訳奉仕団…点図作成、しおり作り
  - いなべ市地域奉仕団…赤十字バッジ作り

### 広報関係

- 9/28…県庁プレスリリース提出
- 9/29…つうぴ〜す掲載
- 10/11…開催案内・開催チラシ配付（総配付数 80,000 枚）
- 10/19…FM みえラジオ告知（高田高校生 2 名が出演）
- 10/20…三重テレビ告知（木本高校生 2 名が出演）
- 10/20…三重県文化振興課公式 SNS や各関係団体 SNS にて PR  
くわな新聞掲載
- 10/23（当日）…三重テレビ取材（18：00～Mie ライブにて放送）



## 当日の様子（写真）

### ●館内催し物

2階：高校生ブース・赤十字奉仕団ブース(青年奉仕団・賛助奉仕団・津市・菟野町地域奉仕団)・日本調剤

高校生ブースの様子



記念講演



高田高校



久居農林高校



紀南高校・くろしお学園



木本高校





四日市四郷・飯野高校



白子高校



津市・菰野町地域奉仕団

青年赤十字奉仕団

賛助奉仕団

日本調剤

3階：赤十字奉仕団ブース（無線・安全・点訳・いなべ地域奉仕団）、ポスターコンクール受賞作品展示



ポスターコンクール受賞作品展示



無線奉仕団

いなべ市地域奉仕団



点訳奉仕団



安全奉仕団





●館外催し物

オープニングセレモニー



職業体験・キッチンカー

職業体験



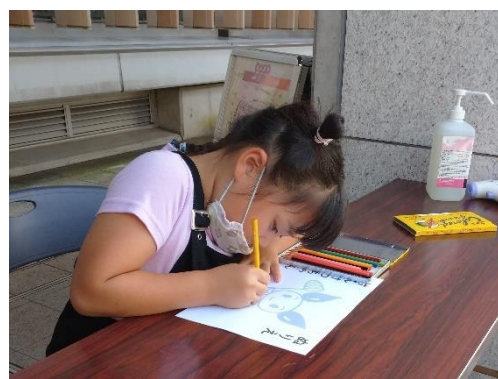
屋外駐車場の様子



大人気のハートラちゃんと  
三重大ボランティア



## 血液センターブース



## ステージ企画



お菓子まき



ダンス



大道芸

多くのご来場ありがとうございました！



青少年赤十字創設 100 周年記念事業「三重県赤十字まつり」in 三重県総合博物館 MieMu  
2022.10.23

## 高校生の振り返り※一部抜粋

### 【高田高校】SDGs クイズ・クロスワードパズル・ぐるぐる君用景品づくり

- ・急遽、参加人数が減るというハプニングがあったが、準備段階で一年生にたくさん協力してもらい当日を迎えることができた。忘れ物など、事前に注意しておけばよかったミスが多く、「私がしなくても誰かがしてくれる」という気持ちがあったので、「誰かが…」ではなく「自分が…」という気持ちを持った自分になっていきたい。
- ・思っていたより多くの小さい子どもたちが来てくれて、楽しんでくれたのでとてもうれしかった。自分たちが計画したことを進めることが難しくて、いろんな人の意見を聞きながら実行することの難しさを知りました。
- ・子どもたちに、問題の意味やヒントなどをどうやったら伝わりやすいのか考えるのは難しかったけど、触れ合えてとてもいい経験になった。赤十字に興味をもっている人がたくさんいることを知った。大人・子どもなど、普段の学校生活で関わらない人々に対して、もっと普段から積極的に関わっていき、いざとなったときに助けられるような人になりたいと思いました。
- ・今後の取り組みでは、SDGsの一つ「海の豊かさを守ろう」の実現につなげていきたい。私は、海やお魚がとても好きなので、ポイ捨て0にするために、SNS・インスタ・ポスターなどを使って部活内で共有したいです。このままでは、いつかお魚がいなくなってしまうかもしれないし、プラスチックが私たちの体にも影響するかもしれないので、早く実現したいと思っています。いつかは、海の底がみえるくらいきれいな海にしていきたいです。

### 【四日市四郷高校】国内災害支援募金

- ・私は、募金活動を行いました。活動をする中で、多くのバトンが合わさって人と人とは繋がっているということを実感しました。自分という存在は、多くの人に支えられ、また同時に自分自身も多くの人を支えているのではないかと感じ、今、普通の生活を送れていることへの感謝とともに、苦しい状況が一秒でも早く改善されてほしいと思いました。
- ・青少年赤十字まつりを通して、自分ひとりでは難しいと思えるようなことでも周りとの協力し素晴らしいものにすることができました。
- ・私は、募金をしてくれる人は、大人だけだと思い込んでいました。実際には、小さいお子さんも募金をしてくれたので、お礼の品も小さい子向けにも用意すべきでした。この反省を生かして、今後は、年齢層のことを考えたり、季節のものを取り入れたりしたいです。

### 【くろしお学園】ボッチャ体験・射的など

- ・子どもたちがたくさんきてくれてうれしかった。ボッチャがたくさんの人に知ってもらえるといいなと思いました。
- ・思っていたよりたくさんの方が来てくれておどろきました。
- ・紀南高校の生徒さんに教えてもらってベビーカステラを500円で買いました。楽しかったです。

#### 【飯野高校】ウクライナ人道支援募金

- 予想していたよりも多くの方が募金してくださり、想像以上の募金額が集まったので嬉しかったです。募金してくれた人の割合は子供が多くて、自分のなかで意外だった。少しずつではあるけど、社会の状況と共に子どもたちの世界に対する興味や意識が変化しているのかなと感じた。
- 前を通る人の意識や視線をこちらに集中させることが重要である募金活動では、ブースのデザインや雰囲気により重要になってくることを学んだ。
- 募金するだけでなく、ウクライナの情報を知りたがっている人もいらっしまったので、スライドを作っておいて良かったです。
- イベントでない場面や個人の活動として募金活動をするときは声での呼びかけがないと厳しいと思うので、その時のためにも声で呼びかける練習もします。

#### 【本本高校】館内ぐるぐるスタンプラリー・バルーンアート

- 私は、今まで接客をしたことがなかったのでとても不安でしたが、勇気を出してがんばりました。
- 当日、先輩たちが役割分担の指示を出したり、小さい子と接しているのを見て、今の私には、到底そんなことはできないと感じました。これから、先輩になったときに頼りになるような人になりたいと思いました。
- 記念講演の安藤恵理さんのお話で、日本赤十字社の支援活動が、世界のルールに則ってすごく活躍していることを初めて知りました。
- これからもこのようなイベントがあると思うので、自分たちもリーダーシップを発揮できるよう生かしていこうと思いました。
- 自分の仕事に取り組みながら、周りやお客様に気を配るなど視野を広く持つことの難しさを学んだ。
- 南部トレセンの時に企画をして、本番に向けてバルーンアートのうさぎや剣などの練習をがんばった。当日は、たくさんの来場者が来て、大盛況で練習した甲斐田あって楽しめました。
- 自分から話しかける勇気がなかったが、今回の赤十字まつりでお客様に話しかけることができ、成長したなと感じました。
- バルーンアートを選んでもらうときに、小さい子には、身長を合わせに行ったり、どの色がいいか指をさしてもらえるように全色の風船をもっていくなどの工夫ができてよかった。
- 自分は、ぐるぐるスタンプラリーのコスプレをして会場を歩き、スタンプを押していく役割をした。  
思った以上に会場がにぎわっていて大変だったが、子供たちに声をかけられたりしてとても楽しかった。4時間くらい歩き続けるのはとてもたいへんだったが、それ以上の喜びを感じることができた。



【久居農林高校】ハンドベル演奏、クリスマス・お正月飾りの販売による募金活動

- 人が多くて緊張したけど、子どもから大人まで幅広い年代の方に楽しんでもらえてよかった。
- 募金活動として、クリスマス・正月飾りを打って支援金になることを伝えて、こういった活動を知ってもらえたし、自分も活動に協力できてとても良かったです。
- いろいろな方に、「素敵な作品だね」「かわいいね」と言ってもらえてとてもうれしかったです。ハンドベルの演奏もお客さんの拍手がとてもうれしくてやりがいがありました。
- 今回の取り組みを通してたくさんの方に青少年赤十字の活動を知ってもらえたと思うので、このような活動を続けていくことが大切だと思います。
- 今回のまつりは、楽しみながら学ぶことができ、とてもいい経験になりました。災害時の必須アイテムもしっかり学べて、自分も準備しようと強く思いました。
- 他校の取り組みを見ていると大人から子どもまで興味を持ってそうな楽しい企画がたくさんあって、自分たちの学校でもできたらいいなと思えた。

【白子高校】ジャグリング・車いす体験

- このご時世でイベントの開催ができたのは嬉しいし、奉仕の意味を入部当時よりもわかった気がした。
- 基本的な事です、時間を守る大切さや情報をしっかり共有していく重要性を改めて感じました。  
自転車に乗ってる親子が転倒してしまったところに、みんなが走って駆け寄って声をかけていて、すぐに気づいて行動できるということを実感した日でした。体験コーナーでも臨機 応変に対応できて、体験してもらった人もみんな笑顔だったのでうれしかったです。
- めっちゃ緊張して「無理かも〜ジャグリング失敗したらやばい」とか思っていて、自分からのプレッシャーに潰されそうだったけどステージの上では逆に頭が真っ白になって頑張れてと思います。車椅子体験では小さな子にも上手く接したり、自分が習ったことはしっかり教えれたと思います。
- 小さい子相手にジャグリングを教えるのがとても難しかったけど、できるようになった時とてもお互い嬉しかったです。ジャグリングがコミュニティの一つになるということを学びました。
- 私が新しく気づいたことは、人に教えることの難しさです。けれど、そんな中でも嬉しかったことがありました。それは、教えて伝わったときでした。そして、教えてできるようになって感謝して帰って行かれたときは、本当に嬉しかったです。最後に学んだことは、みんなで練習してきたジャグリングを失敗しても最後までやり遂げたときの達成感が大きいということでした。

【紀南高校】ボッチャ体験・射的

- 予想以上の人手がいて、企画（割り箸鉄砲での射的）の景品がお昼前になくなった。でも、

その分、他のブースを見ることができ、とても楽しめた。

- 小さい子どもが多かったので、企画をもっと小さな子ども向けにしておけば良かった。あと、イラストや飾り付けなども、かわいいものにしてあげればよかったと思う。
- 「〇〇を探せ」企画で、企画のリーダーと事前に打合せたことと違っていることがあり（自分の勘違いだったかもしれないが）、直前の準備で慌てた。
- 企画のリーダー校で、1回目の打合せを行ったとき、やたらと時間がかかり、先生に叱られた。協議したり確認したりする内容をしっかり考えたうえで、打合せに出るべきだと思った。





# 青少年赤十字創設100周年記念事業

## 「三重県青少年赤十字まつり」開催要項

### ～未来のあなたへ やさしさを～

#### 1. 目 的

青少年赤十字は、赤十字の考え方を通じて、人を思いやり、主体的に行動する子どもを育てることを目的としています。日本における青少年赤十字は、1922（大正11）年に滋賀県の守山市立守山小学校から全国に広まり、令和4年度には青少年赤十字創設100周年を迎えました。

全国の青少年赤十字加盟校では、この創設100周年を契機に、「未来のあなたへ、やさしさを。」というスローガンを掲げて、子どもたちの絆・想い・活動を「つなぎ」、生きる力を育む活動を「つづけ」、新たな青少年赤十字の歴史を「つくる」活動を展開しています。

三重県では、青少年赤十字の高校生が運営の中心メンバーになって、「三重県青少年赤十字まつり」を開催します。このイベントを通じて、子どもたちが赤十字の人道について学ぶとともに、青少年赤十字の活動を県民の皆様にご理解いただき、幅広い赤十字活動のさらなる普及を図ります。

2. 開催日時 令和4年10月23日（日）10：00～15：30

3. 開催場所 三重県総合博物館 MieMu  
〒514-0061 津市一身田上津部田3060 TEL 059-228-2283

4. 主 催 日本赤十字社三重県支部・三重県青少年赤十字高等学校連絡協議会

5. 後援 三重県教育委員会・津市教育委員会・松阪市教育委員会・三重県小中学校長会  
・三重県立学校長会

6. 参加協力 三重県・日赤三重県支部有功会・三重県青少年赤十字指導者協議会  
日赤三重県支部地域奉仕団連絡協議会・赤十字奉仕団三重県支部委員会  
三重県青年赤十字奉仕団・三重大学生ボランティア  
伊勢赤十字病院・三重県赤十字血液センター

7. 参加者 保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の園児・児童・生徒と保護者

#### 8. 主な内容

- (1) 記念講演 「国際赤十字活動と人道支援」 (WEB講演)  
～バンングラデシュ避難民キャンプでの活動を通して～  
伊勢赤十字病院 看護師長 安藤 恵理
- (2) 青少年赤十字創設100周年記念ポスターコンクール受賞作品の展示  
青少年赤十字の実践目標である「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」をテーマに、県内の児童・生徒が作成したポスター（応募総数 586 点）の中から、優秀作品の展示
- (3) 県内の青少年赤十字加盟校の高校生による「つなぐ」、「つづける」、「つくる」活動の展示、紹介
  - ① 青少年赤十字高校生メンバーによる企画（学校ごとのブース出展）  
・スタンプラリー ・SDGs クイズ ・ジャグリング ・バルーンアート ・ハンドベル  
・防災グッズ展示 ・ウクライナ人道危機救援金募金 など
  - ③ 青少年赤十字 100 周年記念品の配付・公式キャラクター「ハートラちゃん」との記念撮影
- (4) 赤十字関係団体によるブース出展
  - ①赤十字奉仕団…・非常食炊き出し体験 ・点訳コーナー ・無線体験 ・AED・応急手当体験  
・プラバン作り ・赤十字バッジ作り など
  - ②血液センター…献血のはなし・献血車見学 など
- (5) 協賛団体による企画  
・ステージ企画（大道芸人など）・キッチンカー・職業体験・健康測定 など

9. その他 ・入場無料（一部を除く）  
・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、中止もしくは開催方法を変更する場合があります。その際は、当支部のホームページでお知らせします。



# 三重県青少年赤十字まつり概要

令和4年10月23日

三重県総合博物館MieMu

20221013版

| タイム   | タイムテーブル                                                                | 場 所            |
|-------|------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 10:00 | オープニングセレモニー                                                            | 特設ステージ（駐車場）    |
| 10:15 | 各団体ブース内企画<br>※高校生ブースを除く                                                | MieMu2F・3F・駐車場 |
| 11:00 | 記念講演「国際赤十字活動と人道支援」（WEB）<br>～バングラディッシュ避難民キャンプでの活動を通して～<br>安藤恵理（伊勢赤十字病院） | 交流展示室（2F）      |
| 11:30 | 各団体ブース企画                                                               | MieMu2F・3F・駐車場 |
| 15:30 | 閉会のご挨拶                                                                 | 特設ステージ（駐車場）    |

ハートラちゃんと  
記念撮影スポット



3F

○スタンプラリーで景品をもらおう！  
（ベビースターラーメンももらえるよ）

○100周年記念グッズもあるよ！

お楽しみに！

2F

○奉仕団ブース

（安全奉仕団・無線奉仕団・点訳奉仕団・賛助奉仕団・青年赤十字奉仕団他）

健康測定

・脳年齢  
・血管延齢  
・体組成計

＜オープニングセレモニー＞

10:00～

- ・開会のことば
- ・ちかいの唱和
- ・空は世界へ
- ・挨拶：日赤三重県支部服部副支部長  
高等学校連絡協議会堀越会長  
三重県赤十字社有功会伊藤会長

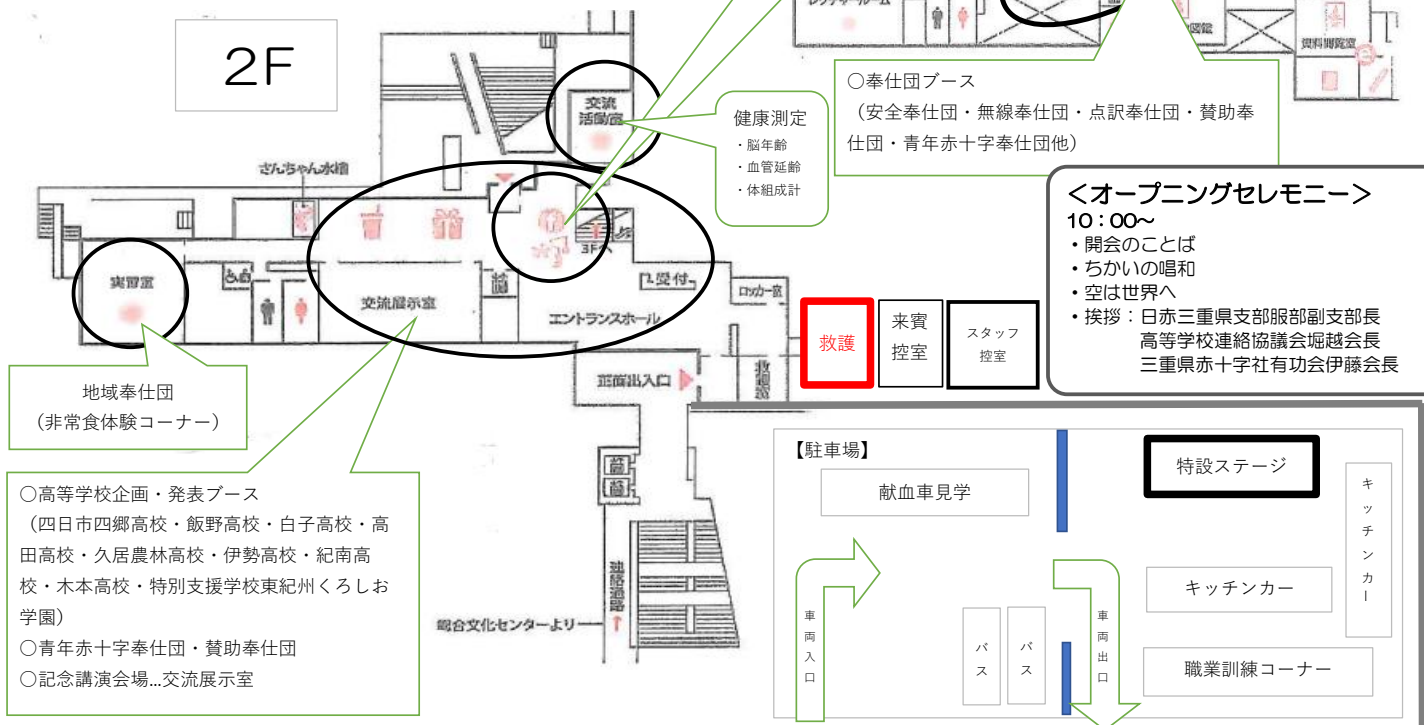
ステージ企画（案）

|       |                  |
|-------|------------------|
| 10:00 | オープニングセレモニー      |
| 10:20 | B-BOX（ダンス）       |
| 11:30 | 吉田さんちの大道芸        |
| 12:20 | ハンドベル演奏（久居農林高校）  |
| 12:50 | MightyGirls（ダンス） |
| 13:20 | ジャグリング（白子高校）     |
| 13:50 | 吉田さんちの大道芸        |
| 14:30 | G-row（ダンス）       |
| 15:15 | おかしまき            |
| 15:30 | 閉会セレモニー          |

＜閉会セレモニー＞15:30～

- ・閉会のことば
- ・ちかいの唱和
- ・挨拶：日赤三重県支部 松田事務局長  
青少年赤十字指導者協議会 青木会長  
総合博物館MieMu館長 守屋館長

たこ焼き・佐世保バーガー・焼きそば・クレープ・ホットサンド・クロック・韓国チキン・唐揚げ・アメリカンポテト・牛くしなど







ハートラちゃん

**+** JRC

青少年赤十字創設100周年記念事業

# 三重県青少年 赤十字まつり

2022.10.23(日)

10:00~15:30

in 三重県総合博物館MieMu

**MieMu**  
無料開放!

※企画展示室は有料

屋内会場イベント

## 記念講演

11:00~11:30

国際赤十字活動と人道支援  
~バングラデシュ避難民キャンプ  
での活動を通して~

伊勢赤十字病院 看護師長 安藤 恵理

※講師はWEB講演になります。

## 青少年赤十字創設100周年記念 ポスターコンクール作品展示

青少年赤十字の実践目標である  
「健康・安全」「奉仕」「国際理解・  
親善」をテーマに、県内の児童・  
生徒が作成したポスターの中  
から、優秀作品を展示します。



## 県内の青少年赤十字加盟校の高校生による 「つなぐ」「つづける」「つくる」活動の展示と紹介



加盟校/  
四日市四郷高校・白子高校・飯野高校  
久居農林高校・高田高校・伊勢高校  
紀南高校・木本高校  
特別支援学校東紀州くろしお学園



11:30~

### ●館内ぐるぐるスタンプラリー

館内にいる「ぐるぐる君」を見つけて  
スタンプを集めて景品をもらおう!  
※なくなり次第終了  
景品交換場所/2階エントランス

### ●SDGsクイズ

### ●青少年赤十字クイズ

### ●各学校による発表

### ●ハンドベル・ジャグリング

※屋外ステージでも開催。  
時間の詳細は裏面をご確認ください。

### ●ポッチャ体験

### ●赤十字防災グッズ展示

### ●赤十字奉仕団

・点訳コーナー・AED/応急手当体験  
・無線体験・非常食炊き出し体験  
・プラバン・紙芝居・赤十字バッジ作り  
・非常食炊き出し体験 など

### ●ウクライナ人道危機救援募金



ハートラちゃんと  
記念撮影

公式キャラクター  
「ハートラちゃん」  
と一緒に写真が  
撮れるよ。

## 健康測定

脳年齢・血管年齢・体組成計・  
肌年齢・骨密度

協力/日本調剤

フォト  
スポット  
設置





# ～未来のあなたへ やさしさを～

青少年赤十字は、赤十字の考え方を通じて、人を思いやり、主体的に行動する子どもを育てることを目的としています。日本における青少年赤十字は、1922年に滋賀県から全国に広まり、2022年に創設100周年を迎えました。全国の青少年赤十字加盟校では、この100周年を契機に「未来のあなたへ、やさしさを。」というスローガンを掲げて、子どもたちの絆・想いを「つなぎ」、生きる力を育む活動を「つづけ」、新たな青少年赤十字の歴史を「つくる」活動を展開しています。

三重県では、青少年赤十字の高校生が運営の中心メンバーになって、「三重県青少年赤十字まつり」を開催し、子どもたちが赤十字の人道について学ぶとともに、青少年赤十字の活動を県民の皆様にご理解いただき、幅広い赤十字活動のさらなる普及を図ります。

## 屋外会場イベント

### 赤十字関連団体による出展

#### ●血液センター

献血のはなし・献血車見学など



吉田さんちの大道芸  
SNS総再生数1億回越えの話題の親子大道芸人。数多くのTV番組にも出演。圧巻の感動パフォーマンスです。



- 10:00～10:15 開会式  
10:20～ B-BOX(ダンス)  
11:30～ 吉田さんちの大道芸  
12:20～ ハンドベル(久居農林高校)  
12:50～ Mighty Girls  
13:20～ ジャグリング(白子高校)  
13:50～ 吉田さんちの大道芸  
14:30～ G-row(ダンス)  
15:15～ お菓子まき  
15:30～ 閉会式

タイムスケジュール

### 職業体験

三栄会協力による「学べる」「遊べる」「働ける」  
職業体験とワークショップ



型枠大工の職業体験&  
働くクルマでクレーンゲーム  
辻本組



カラフル工房、塗装体験  
日塗建



トレーナーの仕事体験!  
ANAPA



庭師の職業体験  
庭工房



足場&高所作業車体験  
ビレネーエキスパート



車載車の構造説明、  
タイヤの脱着体験  
奥山自動車工業

ANAPAブースにて  
筋肉を見て感じて!  
10分ボディビルショー  
11:00、13:00、15:00



### キッチンカー大集合

#### 10台のキッチンカーが出店



佐世保バーガー/焼きそば  
ホットサンド/韓国チキン  
アメリカンポテト/唐揚げ  
ベビーカステラ/クレープ  
コロケ/たこ焼き



### 会場のご案内



### 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。



- 必ずマスクを着用してご来場ください。  
※暑さ対策等で屋外でマスクを外していただいても大丈夫ですが人と距離を保つようお願い致します。
- ご自宅にて検温を行ってからご来場ください。  
37.5℃以上、または体調に不安のある方はご来場をご遠慮いただきますようお願い致します。
- イベント会場では各自で距離をお取りください。  
飲食される場合も間隔を空けてお召し上がりください。
- 密をさけるため、各ブースに人数制限を設ける場合がございます。

上記をお守りいただけない場合はご来場のお断りまたは、ご退場いただく事がございます。予めご了承ください。